

| | | | |
|---------|---------------|-------------------|--|
| 科目担当者氏名 | | 科目担当者連絡先（メールアドレス） | |
| 飯野 智子 | | | |
| 連絡責任者氏名 | | 科目設置機関名 | |
| 石原 英樹 | | 明治学院大学 社会学部 社会学科 | |
| 授業科目名 | 科目認定番号 | 受講者数 | |
| 社会調査実習 | MJGa-160805-0 | 15人 | |

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

学生は、ジェンダー論という分野の中から話し合っテーマと調査方法を決定した。対象者を調べ、質問事項をまとめ、実際に質問をした。同時に資料を収集し、関連するデータを分析した。インタビューを基に、データを足し、話し合いを行う中で考察をし、報告書の執筆と発表を行った。全体的にテーマを深く掘り下げようという積極性が見られた。さらに調査対象を広げたり増やしたりすることと、沢山の文献に当たることができれば良かった。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

変わりゆく男性—男性の美容と家事・育児

2. 調査の内容／概要：

男性美容研究家、ジェンダーレス男子所属のモデルエージェント、男性の家事・育児・地域社会との関わりを推進する団体にインタビューを行い、男性の意識や男性が自らの状況を変える努力に変化が見られるかを探る。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

男性美容研究家...男性の美容の現状と今後を知るため ジェンダーレス男子所属のモデルエージェント...新しい男性像を探るため
男性の家事・育児・地域社会との関わりを推進する団体...男性のワーク・ライフ・バランスの現状の課題を知り、今後について考察するため。

4. 主な調査項目：

男性美容研究家...男性美容の現状と男性の美容に対する意識の変化、男性美容という職業について
モデルエージェント...ジェンダーレス男子の意識、社会における受け入れられ方
家事・育児～団体...男性のワーク・ライフ・バランスのための課題と様々な取り組み、男性の意識

男性の

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

すべてインタビューによる。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2016年6月から8月。明治学院大学、渋谷区、神奈川県川崎市。調査員は15名。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収率及び回収率を必ず記入）：

男性美容、ジェンダーレス男子はこれ以上はない専門家にインタビューを行うことができた。男性の家事、育児については行政、NPO、男性の自由な団体という性格の異なる所にできた。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

インタビューを基にして、資料にあたり、グループ討論、全体討論を行って分析をした。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

男性の美容は、市場、男性の意識が、質、量共に変化しているということが分かった。多様性の受容ということで、ジェンダーレス男子という存在も浮かび上がってきた。家事、育児、地域社会に積極的に関わろうという様々な試みも各地に誕生していて、男性の生き方の幅が広がる可能性を見出すことができた。

10. 報告書刊行の予定と概要：

『社会調査実習報告書 Vol.33』2017年3月発行。